

令和 2 年度 (2020 年度)

# 市政モニターアンケート結果

———— テーマ ————

再犯防止の取り組みについて  
(生活安全部 防犯課)

—————

八王子市

あなたのみちを、  
あるけるまち。  **八王子**



# 目 次

《市政モニターの属性》	1
<b>テーマ 再犯防止の取り組みについて</b>	
問1 八王子市が犯罪の少ない安全で安心な暮らしやすい街だと感じるか	2
問2 市で実施している防犯対策を知っているか	3
問3 全国、八王子市ともに刑法犯認知件数が近年減少していることを知っているか	4
問4 検挙人員に占める再犯者の比率が上昇し続けていることを知っているか	4
問5 国が法律を施行し、再犯防止を推進していることを知っているか	5
問6 八王子独自の再犯防止対策は必要か	5
問7 再犯防止に協力する民間協力者を知っているか	6
問8 再犯防止をすすめるための取り組み	9
問9 薬物依存者の再犯を防ぐために、国または市がすべきこと	11
問10 少年少女の再犯防止のために、国や市がすべきこと	12
問11 八王子市の今後の再犯防止への取り組みについてご意見	13

## 市政モニターの属性

(太枠内は今回の回収数)

全 体		郵送		インターネット		合計	
		48	46	52	49	100	95
性別	男性	21	19	27	25	48	44
	女性	27	27	25	24	52	51
年代	18歳～29歳	8	8	9	8	17	16
	30歳代	6	6	6	6	12	12
	40歳代	8	8	12	11	20	19
	50歳代	10	9	11	11	21	20
	60歳～64歳	4	4	7	6	11	10
	65歳以上	12	11	7	7	19	18
地区	中央 (本庁地区)	12	12	14	14	26	26
	西南部 (浅川・横山・館地区)	7	7	8	7	15	14
	東 部 (由木・由木東・南大沢地区)	12	10	10	8	22	18
	西 部 (元八王子・恩方・川口地区)	6	6	5	5	11	11
	東南部 (由井・北野地区)	8	8	10	10	18	18
	北 部 (加住・石川地区)	3	3	5	5	8	8

(定員は100名)

※ アンケート実施期間:令和2年(2020年)9月29日から令和2年(2020年)10月14日まで

※ 回収率:95%(小数点第2位を四捨五入)

※ 回答は各質問の回答者数(n)を基数とした百分率(%)で表示した。(百分率は、小数点以下第2位を四捨五入して算出してあるため、合計が100%にならない場合がある。また、複数回答の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合がある。)

※ 割合の表現については、以下の表記を基本とする。

<例>

表記	4割	約4割	4割強	4割台半ば	5割近く	5割弱
割合	40.0%	40.1~40.9%	41.0~43.9%	44.0~45.9%	46.0~48.9%	49.0~49.9%

※ 自由記述の表現はできる限り原文のまま記載しているが、アンケート全体で統一するため、一部表現を修正している。また、特定の個人、団体への誹謗中傷につながる内容や企業の営業活動に影響するもの、根拠が明確でないものなどは、一部削除・修正した。

## テーマ 再犯防止の取り組みについて

生活安全部 防犯課

平成 15 年(2003 年)以降、全国の刑法犯認知件数(※1)は減少を続けていますが、検挙人員(※2)に占める再犯者の比率は上昇し続けています。

国は、犯罪や非行をした人の円滑な社会復帰を促進すること等による再犯の防止が犯罪対策において重要であると考え、平成 28 年(2016 年)に「再犯の防止等の推進に関する法律」を制定、平成 29 年(2017 年)には、「再犯防止推進計画」を策定しました。

本市においても、犯罪や非行そのものの防止とともに再犯者を減らすことが、市民の皆様の安全安心を確保するために不可欠であると考え、「八王子市再犯防止推進計画」を策定することとしました。策定にあたり、市政モニターの皆様のご意見をお伺いします。

- (※1)刑法犯認知件数 警察が犯罪について、被害の届出等によりその発生を確認した件数  
(※2)検挙人員 警察などが検挙した事件の被疑者の数  
再犯 犯罪をした人が再び犯罪をすること。  
再犯防止 犯罪をした人が立ち直り、再犯しないようにすること。

問1 あなたは八王子市が犯罪のない(少ない)安全で安心な暮らしやすい街だと感じますか。  
(選択は1つだけ)

(n=95)

	構成比(%)
感じる	17.9
どちらかといえば感じる	45.3
どちらかといえば感じない	26.3
感じない	5.3
わからない	4.2
【無回答】	1.1

八王子市が犯罪のない(少ない)安全で安心な暮らしやすい街だと感じるか聞いたところ、「どちらかといえば感じる」が4割台半ば(45.3%)と最も多く、次いで「どちらかといえば感じない」が3割近く(26.3%)であった。

問2 八王子市では、市民の皆様が安全で安心して暮らせるよう様々な防犯対策を実施しています。あなたは、次の取り組みを知っていますか。 (選択はいくつでも)

(n=95)

	構成比(%)
青パトによる市内パトロール(※1)	67.4
防犯カメラの設置(※2)	53.7
防犯メールによる情報提供(※3)	50.5
繁華街パトロール(※4)	30.5
自動通話録音機の貸与(※5)	13.7
【無回答】	1.1

(※1)

青色回転灯付き安全パトロールカーにより、市内全域をパトロールしています。

(※2)

トイレのある公園や、小学校通学路に防犯カメラを設置しています。

(※3)

登録いただいた方に、不審者情報や防犯に役立つ情報を随時配信しています。

(※4)

JR 八王子駅前の居酒屋などの客引き行為やつきまとい行為等の防止パトロールを行っています。

(※5)

オレオレ詐欺などの特殊詐欺を防止するため、電話をかけてきた相手に対し音声で警告する機器を貸し出ししています。

八王子市が実施している防犯対策のうち、知っている取り組みがあるか聞いたところ、「青パトによる市内パトロール」が7割近く(67.4%)と最も多く、次いで「防犯カメラの設置」が5割強(53.7%)であった。

問3 平成 15 年(2003 年)以降、全国の刑法犯認知件数は減少を続けており、八王子市においても、令和元年(2019 年)には 3,469 件とピーク時(平成 12 年(2000 年))の 3 割程度まで減少しています。全国、八王子市ともに件数が近年減少していることを知っていましたか。(選択は1つだけ)

(n=95)

	構成比(%)
知っている	4.2
なんとなく知っている	21.1
知らない	74.7

全国、八王子市ともに刑法犯認知件数が近年減少していることを知っているか聞いたところ、「知らない」が 7割台半ば(74.7%)と最も多く、次いで「なんとなく知っている」が2割強(21.1%)であった。

問4 刑法犯認知件数が減少している一方で、検挙人員に占める再犯者の比率は上昇し続けていることを知っていましたか。(選択は1つだけ)

(n=95)

	構成比(%)
知っている	8.4
なんとなく知っている	28.4
知らない	63.2

刑法犯認知件数が減少している一方で、検挙人員に占める再犯者の比率は上昇していることを知っているか聞いたところ、「知らない」が6割強(63.2%)と最も多く、次いで「なんとなく知っている」が3割強(28.4%)であった。

問5 国は平成 28 年(2016 年)に法律を施行し、再犯防止を推進していることを知っていますか。(選択は1つだけ)

(n=95)

	構成比(%)
知っている	9.5
「再犯防止」という言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない	55.8
知らない	34.7

国が再犯防止を推進していることを知っているか聞いたところ、「再犯防止」という言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない」が5割台半ば(55.8%)と最も多く、次いで「知らない」が3割台半ば(34.7%)であった。

問6 市民の皆様の安全安心のために、八王子市独自の再犯防止対策は必要だと思いますか。(選択は1つだけ)

(n=95)

	構成比(%)
必要	57.9
どちらかといえば必要	33.7
どちらかといえば必要がない	1.1
必要がない	2.1
わからない	5.3

八王子市独自の再犯防止対策知っているか聞いたところ、「必要」が6割近く(57.9%)と最も多く、次いで「どちらかといえば必要」が3割強(33.7%)であった。

問7 再犯防止に協力する民間協力者がいます。あなたは、次のような言葉を見たり聞いたりしたことがありますか。 (名称ごとに選択は1つだけ)

枠内の数字は百分率(%)で表示。  は項目内で最高値。 (n=95)

名称	役割	名称・役割ともに知っている	名称又は役割のいずれかを知っている	名称・役割ともに知らない	【無回答】
保護司	犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支える民間ボランティア。 保護観察対象者となった者へ保護観察(更生の為に指導監督、補導援護)を行う。 法務省から委嘱。	<input type="text" value="42.1"/>	30.5	26.3	1.1
更生保護女性会	犯罪・非行の未然防止のための啓発活動を行い、青少年の健全な育成を助け、犯罪をした人や非行少年の改善更生に協力する女性ボランティア。	4.2	5.3	<input type="text" value="90.5"/>	0.0
協力雇用主	犯罪をした者等の自立及び社会復帰に協力することを目的として、犯罪をした者等を雇用し、又は雇用しようとする民間の事業主。	22.1	<input type="text" value="40.0"/>	37.9	0.0
BBS会	問題を抱える少年が自分自身で問題を解決したり、健全に成長していくのを支援し、犯罪や非行のない地域社会を目指す青年ボランティア団体。	2.1	3.2	<input type="text" value="94.7"/>	0.0

名称	役割	名称・役割 ともに 知っている	名称又は 役割の いずれかを 知っている	名称・役割 ともに 知らない	【無回答】
更生保護施設	矯正施設から釈放された人や保護観察中の人で、身寄りがないことや、現在住んでいるところでは更生が妨げられるおそれがあるなどの理由で、直ちに自立更生することが困難な人たちに対して、一定期間、宿泊場所や食事を提供する民間の施設。	47.4	35.8	16.8	0.0
きょうかいし 教誨師	受刑者や少年院在院者等の改善更生のため、宗教により教誨(悪いことをしたものに教え諭すこと)をする宗教家。	15.8	16.8	67.4	0.0
とくし 篤志面接委員	専門的な知識・経験を有し、法務省から委嘱を受けた者で、受刑者や少年院在院者等の改善更生のために奉仕活動をする者。	3.2	6.3	90.5	0.0
少年補導員	街頭で不良行為少年の発見、補導活動を行い、また警察の補導活動等の補助を行う者。	52.6	29.5	17.9	0.0

名称	役割	名称・役割 ともに 知っている	名称又は 役割の いずれかを 知っている	名称・役割 ともに 知らない	【無回答】
少年指導委員	飲酒喫煙、風俗営業所等付近を徘徊している少年の補導、風俗営業者等に対する助言、健全育成に害を及ぼす行為により被害を受けた少年に助言や指導、援助等を行う者。少年補導員も兼ねる。	22.1	34.7	44.2	0.0
少年警察協助員	少年補導員の活動のほか、非行防止のための助言指導相談を行い、また、非行集団に所属する少年を離脱させ、警察が行う非行集団の解体補導への協力援助活動を行う者。	3.2	6.3	89.5	1.1

問8 再犯防止をすすめるために、以下の区分ごとの取組としてあてはまるものをお選びください。  
(区分ごとに選択はいくつでも)

(n=95)

区分	取組内容	構成比(%)
全般	仕事と住居を確保して安定した生活基盤を築かせる	69.5
	刑事司法関係機関(刑務所、少年院、保護観察所等)による一人ひとりの問題性に 応じた、きめ細かな指導や支援を充実する	66.3
	被害者の置かれた状況や心情を犯罪をした人に理解させる	48.4
	犯罪をした高齢者などに対して、福祉制度の利用を促進する	36.8
	犯罪を地域の問題として捉え地域ぐるみで再犯防止に向けた支援をする	33.7
	わからない	6.3
	その他	5.3
	【無回答】	1.1
市がする べきだと 思うこと	犯罪をした人に対する支援ネットワーク(病院、学校、福祉施設などの機関や民間 団体で構成)を作る	65.3
	再犯防止に協力する民間協力者に対して、活動する場所の提供や財政的な支援 をする	54.7
	再犯防止のための計画を策定する	50.5
	住民に対して、再犯防止について広報・啓発活動をする	35.8
	犯罪をした人を地方公共団体の機関で雇用する	28.4
	わからない	8.4
	その他	6.3
あなたが 協力でき ると思うこと	わからない	35.8
	再犯防止に関するボランティア活動に参加する	28.4
	広報・啓発活動に参加する	25.3
	インターネットを活用して広報・啓発活動の情報を発信する	23.2
	更生保護施設(出所後、直ちに自立更生することが困難な人たちに対して、一定 期間、宿泊場所や食事を提供する民間の施設)にお金や品物などを寄付する	18.9
	犯罪をした人に直接会って継続的に助言や援助をする	5.3
	協力雇用主(犯罪前歴を承知の上で雇用に協力する事業主)として、犯罪をした人 を雇用する	4.2
	その他	9.5

区分	【その他】 具体的に記入・入力があった取組内容
全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 性犯罪に関してはアメリカのように GPS をつけて欲しいし、住所や氏名も公表して欲しい。八王子というより、日本は甘すぎると感じる。また、今まで身近で犯罪者を見てきて、再犯というか、そうそう人間性は変わらないと思う。そもそもの育ちや環境から犯罪者になることを止めることももっと重点を置いて欲しい。</li> <li>○ 刑務所、少年院等での環境が良すぎて戻りたいという人がいると聞く。刑務所に入るために犯罪をするようでは、本末転倒なので、人権を侵さない範囲で居心地を悪くする対策も必要だと思う。刑務所は早く出たいと思う場所であるべきではないか。</li> <li>○ 個別の取り組みが重要だと考える。</li> <li>○ 犯罪に対し厳罰化を図ることにより、再犯を思いとどまらせる。再犯者の占める割合が増加しているということは、それだけ犯罪傾向の進んだ人間がいるということであり、長期に服役させて社会の安全を守る必要がある。</li> <li>○ 衣食住足りることが必要。</li> </ul>
市がするべきだと思うこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 公共施設、道路、国有遊休地等の清掃業務等での雇用をし、市の財政(コスト削減)に繋げると、お互いにメリットがあって良いと思う。</li> <li>○ 地域のボランティアなどへの参加。</li> <li>○ 雇用の確保・里親制度での支援。</li> <li>○ 前歴者の情報を市民に対し公開するべき。それによって、市民が前歴者の行動を監視し再犯を抑止するとともに、被害に遭わないよう自衛策を講じられるようにするべき。</li> <li>○ 支援は必要であると同時になぜ犯罪を犯したのかの要因分析をし、それを支援の内容に入れていく。</li> <li>○ 希望を持ってもらうのは大事と思う。</li> </ul>
あなたが協力できると思うこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 更生してくれる人の方が少ないと思うので、正直何もしたくない。</li> <li>○ 直接には何もできない。自分や家族に何かあったらと、何もしたくない。</li> <li>○ 資格(小学校教諭)の活用。</li> <li>○ 協力できることが見当たらない。</li> <li>○ 一般市民としての意見を出す事。</li> <li>○ できそうなことはない。</li> <li>○ 少年犯罪は社会の問題。国が良くなると(景気を良くして社会が回ること)。それが一番の近道。</li> <li>○ 無い。</li> <li>○ 目標があるのが第一歩だと思う。</li> </ul>

問9 覚せい剤取締法違反により受刑した人が刑務所出所後2年以内に再び刑務所に入所する割合は、他の犯罪と比べて高くなっています。そこで、薬物依存者の再犯を防ぐために、国または市は何をするべきだと思いますか。(選択はいくつでも)

(n=95)

	構成比(%)
刑事司法関係機関で薬物依存症からの回復のための専門的なプログラムを実施する	66.3
刑務所に収容する代わりに、薬物依存症の治療を優先した仕組みを整備する	53.7
薬物依存症からの回復を支援する民間団体の活動を支援する	52.6
薬物依存症の治療を専門とする医療機関を増やす	49.5
地元の薬物仲間などとの関係を切るため、別の地域で生活できるよう支援する	18.9
わからない	4.2
その他	7.4
【無回答】	1.1

薬物依存者の再犯を防ぐために、国または市は何をするべきだと思うか聞いたところ、「刑事司法関係機関で薬物依存症からの回復のための専門的なプログラムを実施する」が7割近く(66.3%)と最も多く、次いで「刑務所に収容する代わりに、薬物依存症の治療を優先した仕組みを整備する」が5割強(53.7%)であった。

#### 【その他】具体的に記入・入力があった内容

- 選択肢「地元の薬物仲間などとの関係を切るため、別の地域で生活できるよう支援する」に追加条件として、連絡手段としての通信機器を一部制限する。
- 再犯とは違うが、小さい小学生・中学生くらいから、どれだけ怖いものだと伝える。1回目をどれだけ減らせるか。
- 入手先の根絶。
- 覚せい剤の取り締まりを強化し、刑罰も法改正で重くする。
- 薬物犯罪の厳罰化をするべき。反社会勢力の徹底的な取り締まりを行なうべき。
- 薬物の入手ルートも徹底的に解明し、再犯(再入手)できないようにする。
- 雇用の安定や心の充実感がないと支援することなど

問 10 犯罪をした少年少女の再犯防止のために、国や市は何をするべきだと思いますか。  
(選択はいくつでも)

(n=95)

	構成比(%)
少年院や保護観察所で、被害者の置かれた状況や心情が理解できるよう教育を充実する	55.8
少年院などで高等学校卒業程度認定試験や進学のための教育を充実する	50.5
障害を有している、犯罪をした少年少女に対して、その障害に応じた福祉・医療などの専門的な支援を関係機関が連携し、実施する	48.4
学校における非行防止や薬物乱用防止に関する教育を充実する	47.4
社会の一員としての意識や規範意識を高めるため、ボランティア活動に参加させる	47.4
犯罪をした少年少女の保護者に対して、育て方や親子関係に関する相談・助言を強化する	36.8
刑事司法関係機関による指導監督の期間を長くする	31.6
わからない	5.3
その他	8.4

犯罪をした少年少女の再犯防止のために、国や市は何をするべきだと思うか聞いたところ、「少年院や保護観察所で、被害者の置かれた状況や心情が理解できるよう教育を充実する」が5割台半ば(55.8%)と最も多く、次いで「少年院などで高等学校卒業程度認定試験や進学のための教育を充実する」が約5割(50.5%)であった。

【その他】具体的に記入・入力があった内容

- 継続した支援(心のケア、経済的な補助)。
- 再犯の人と両親との市役所での会合。
- 何もない親の子が悪くなるとは限らない。皆一生懸命育て悩んでいると思うので、温かく相談できるのはいいと思う。
- 少年法撤廃、罰を重くする。
- 農業。八王子はもっと子供たちの教育に農業を導入すべき。アメリカのエディブルスクールヤードという取り組みをご存知か。治安の悪い荒れた学校で授業や放課後に農業を取り入れたところ、食育だけでなく、地域との関係が改善されたり、学校自体がとても良好になっており、どんどんそのムーブメントが広がっている。八王子にはまだ農業をやる環境が残っている。再犯防止はもちろんだが、子供たちがまず非行に走らない環境を作っていくべきだと思う。
- 心理学的な観点から、彼等の問題点を分析し、状況の把握や改善策を実施すること(少年院等に常勤する専門家の雇用等)。
- 少年法を改正して、未成年者の犯罪に対しても成年と同様に厳格な処罰を行うべき。

## 問 11 八王子市では今後、再犯防止推進計画を策定し再犯防止に取り組みます。

再犯防止への取り組みについてご意見がありましたら、ご記入ください。(自由記述)

### 《新規取り組みの提案・要望》

- 交番在駐の人を増やしてほしい。更生施設(ドラッグや酒依存者に対する)を増やし、業務化してほしい。犯罪者へ GPS を付けてほしい。(20 歳代)
- 八王子市はそのベッドタウンという特性上、夜中になると(終電がなくなった後)急激に人気なくなる。人気なくなると人目につかなくなるので、軽犯罪に及び易いと思う。人の数を増やすという事は現実性が無いので、夜道が暗くなるところに何か対策が出来れば、夜間の犯罪は減少するのではないかと思う。駅から少し離れると暗い道も多いので、成人である私でもたまに恐怖を感じることもある。(20 歳代)
- 回覧板の活用など、地域がまとまり、近隣が繋がっていることが犯罪防止、再犯防止につながると思う。地域で把握できない世帯として、アパートや施設が上げられる。学生寮が多くあるが、学校で八王子にお世話になっている、良い所であるという地域愛が育つような取り組みや集合住宅の方の地域への参加の機会があればよいと思う。自宅近隣に相当古いシェアハウスがある。地域では通学の際に近づかないように言われているが、そのような環境があることが望ましいのか、どこが管理者として見守っているのか不明。不審者情報も頻繁に入る。再犯するには再犯できる場所がある事が良くないことだと思う。再犯防止計画も必要だが、未然犯罪の件数の減少にもつながるよう、地域孤独施設への関与、高速道路下の防犯対策、街灯、人感センサー等の設置、手つかずの工事現場、行き止まり箇所、区画整理などの防犯対策を市民の声を反映し、改善され、不審者情報、犯罪件数の減少に繋がるよう、願う。(40 歳代)
- 条例を活用し、地域に合った独自のルール(罰則)を増やすと良いと思う。例えば、八王子周辺では、昔から暴走族等が多い印象がある。改造車や騒音を出す車両について、八王子独自の罰則があってもいいのではないか。これも交通事故等での再犯防止策の一つだと思う。それ以外にも、万引き(窃盗)等について、市独自のルールを作る等、話題になるような活動をすると良いと思う。珍しい事例を全国に先立って行うことで、ニュース等にも取り上げられ、民間に周知する契機にもなると思う。(40 歳代)
- 犯罪者の更生支援より先に、犯罪被害者やその家族、遺族への補償をもっと手厚くするべき。犯罪被害者給付金の内容は、自賠責保険の給付水準以下であり、公費を投入するのならば被害者の救済へ優先的に充てるべきだと考える。犯罪者自身が被害者への賠償もせず、その義務を公費で肩代わりさせた上に更に公費で各種支援を受けられるのは極めて不公正だと思う。また、税を使う以上、再犯があった際は関与した支援団体、協力雇用主、身元引受人の責任も問われるべきで、補助金の返還や被害者への補償の連帯債務を負わせる等の制度も制定が必要と思う。協力雇用主制度などは受刑者が仮釈放を獲得するための潜脱手段として利用されていることも事実ではないか。(50 歳代)
- 再犯率が高い犯罪の種類毎に最適な更生プログラムを具体的に策定していただきたいと思う。(60 歳代)
- 私の住む場所は自然が豊かで、大樹の生い茂る場所が多く見受けられる。防犯カメラがあるという認識が持てるようにカメラの設置を増やしてほしい。小学生くらいの子供が一人で帰宅を急ぐ時の目は、半分おびえるような感じを見受けられる。小学生くらいの帰宅時間はまちまちだが、道々に子供の保護者はもちろん安全監視員が見守っているということを示してほしい。通学路上の家の表示だけに限らず、地域の人間の目が大事だと思う。(70 歳代)

### 《取り組みの周知・啓発》

- 政策や活動の認知度をより上げるために、現在八王子市に在住している市民への広報活動だけでなく、これから引っ越してくる方たちが市役所等で手続きをする際に、再犯防止への取り組みについてお知らせする。または、簡単なアンケートを取るなどをする事で、ひとりひとりの意識を高める。そして、公務を執行する人材だけでなく、民間企業や地域でより安全で安心に暮らせる環境づくりをしていくことが求められると考えた。(20 歳代)
- 市全体で動く事によって、また市民の意識が再犯防止取り組みに目が向くと思うので、大々的にアピールしてもらおうのを期待している。(30 歳代)
- 計画策定後、その計画の内容を住民に周知徹底させる方法が鍵だと思う。日本人のみならず外国籍(日本語がわからない)の方々にも分かりやすい内容にすることも必要ではないか。また、八王子市独自の計画とともに、他の自治体と連携した計画も策定することも必要ではないかと思う。(40 歳代)
- 取り組みを行っていること、その取り組みの内容そのものが、まったく市民に伝わっていないと思う。(50 歳代)
- 取り組みの内容を定期的に市民に知らせ、ポスターなども多く目につくところに貼る。市民が大勢集まるところでの説明や理解を深める、また意見を出してもらおう。(60 歳代)

### 《周囲の環境整備・サポート》

- 一度犯罪をしたというレッテルと、被害者の事を考えると、どんなに再犯防止に取り組んでいても、犯罪をした人と少し距離を置きたいと考えてしまう。再犯防止のためにも、その人には知人がいない新しい環境が必要になるのではと思う。(30 歳代)
- 生活のための金銭的問題などで必要に駆られて犯してしまった罪について、根本的な基盤となる仕事や住居を確保して安定した生活を送っていきけることで再犯はかなり防げると思う。しかし、薬物依存などでは長い期間支援していかなければ簡単に再犯してしまうと思う。更生した経験者や専門家たちの力を借りて、回復を見守り続けて気軽に話せるような繋がりが大切なのではないかと思う。高齢の方が多い八王子市では、オレオレ詐欺に加担する誘惑の機会が多いのではないかと思う。“罪を犯させない”根本的な具体策をたくさん講じて、市民を守っていくことが大切だと思う。(40 歳代)
- 犯罪の種別にもよると考える。薬物等の依存性の強いもの場合は専門の施設や人員の確保の両面が必要だと考える。非行等、主に人間関係、その人を取り巻く環境によるもの場合は、カウンセラー・心理士等の内面からの更生の二本柱で取り組むのが必要だと考える。非行等、主に人間関係、その人を取り巻く環境によるもの場合は、カウンセラー・心理士等の内面からの更生と少年院等の行動・規律面からの更生の二本柱で取り組むのが必要だと考える。(40 歳代)
- 地域のボランティア活動に積極的に参加させること(青少対クリーン活動、消防団に入団させる)。地域の方々の目があることを覚えさせ、社会貢献出来る人間を作っていくことが大事だと思う。  
PS. 私も消防団に14年間入団しました。小学校のPTA会長もしていました。(40 歳代)
- 青少年、また高齢者の再犯防止のために、本人、その家族やご近所からの相談窓口の場所の拡充が必要だと思う。心配し、理解してくれる存在が立ち直りに不可欠だと思う。(40 歳代)
- 再犯防止に取り組まれる事はとても難しい事だと思うが、犯罪を繰り返させない為には、社会集団で生きてゆく中で、その人自身も社会の中で大切な役割を持つ人員の一人である事を実感させる環境作りが必要ではないかと思う。(50 歳代)

- 犯罪をしてしまう時は、心の中にさみしきや不安などを感じているからではと思う。そういう気持ちがない方もいるかもしれないが・・・興味本位で万引き、盗撮、薬物など一度体験するとその時の楽しさが止められない様に脳が判断してしまうことがあると聞いたことがある。再犯防止の一つとしてコミュニケーションを取り合う、取り合えるシステムがあれば以前と違う雰囲気に基づきやすいのではと思う。人それぞれかかわり方は違うので、1人で大勢の方を見るのは大変だと思う。そういう方々をサポートできる様な民間企業、NPO 団体を見極めて市が支援する取り組みがあれば、多少なりとも再犯防止につながるのではと思う。近年名前だけで実働していない NPO、民間企業があり、補助金詐欺みたいなニュースを見るので、八王子市はそういうことがない様、みんなの税金をきちんと役立てていただけるような支援をお願いしたい。  
(50 歳代)
- 再犯につながる理由・原因が個々に必ずあるかと思う。これまでにこうしたまとめ等を整備され、防止につながってきた事例もおそらくあることと思う。良かった事例、そうでなかった事例等、「見える化」などして地域の大人に支援・協力の意識を広めていけるといいな・・・と感じている。  
(60 歳代)
- 犯罪を犯す原因究明が必要だと思う。本人から辛抱強く聞き取りを行うことと、最低限の衣食住の確保を行い、社会復帰した場合の受け入れ先の待遇は元より温かく見守れるだけの社会的体力、信用、信頼も要件とするべきではないか。  
(60 歳代)
- 再就職支援機関と協力して、支援をしてもらえる事業主を探し、周りが見守りきちんとした長期の就業が来るように対応をしていく。  
(60 歳代)
- 再犯防止については犯罪者に対し、長い目で社会復帰できるように一定期間住居・食事を提供する施設を、また自立できるように知識を身につける機関が必要ではないかと思う。  
(70 歳代)

#### 《子育て・教育面での取り組み》

- 犯罪や非行をなくしていくには、家庭環境と家庭教育がとても重要だと思う。自治体や学校が一生懸命取り組んでも、家庭がしっかりしていなければ無理があるのではないかと思う。コミュニケーションがしっかりとれていて、信頼しあえる家族がいることで犯罪・非行・再犯が防げるのではないか。「あたたかい食事をきちんと食べる」基本的な事がなくなってしまって心が荒むことが多くなっているような気がする。防犯課だけでなく、教育も含めた子育て関係の所管との連携も必要なのではと思う。  
(20 歳代)
- 子育て支援員のような人を、低労力の子が通う学校(中学・高校)に専属でつける。多い人数(少なくとも5人)が欲しい。勉強面だけでなく、生活面・家庭環境の把握を教師だけでない立場で声をかけ、サポートをする存在が子供やその親にとって必要だと考える。  
(30 歳代)
- 農業。八王子はもっと子供たちの教育に農業を導入すべき。アメリカのエディブルスクールヤードという取り組みをご存知か。治安の悪い荒れた学校で授業や放課後に農業を取り入れたところ、食育だけでなく、地域との関係が改善されたり、学校自体がとても良好になっており、どんどんそのムーブメントが広がっている。八王子にはまだ農業をやる環境が残っている。再犯防止はもちろんだが、子供たちがまず非行に走らない環境を作っていくべきだと思う。  
(40 歳代)
- 犯罪の内容に応じた専門家(専門知識、視覚等を持つ方)の関わりが統一して取られていくような体制の構築が必要ではないかと感じる。未成年に対しては、犯罪に関する意識を変えていくような教育はもとより、その後の生き方にプラスとなるような基本的な常識や知識、社会生活を営んでいけるような教育により力を入れるべきかと思う。社会生活を再開する際の受け入れ先となる団体や個人が躊躇なく活動できるような資金も含めた行政の支援体制の構築も必要かと思う。  
(50 歳代)

- コロナという病気が流行り、人とのコミュニケーションが直接とりづらい世の中になった。特に子供たちの学びの場が変化していきだろう。私は年齢差の子どもがいるが、便利さが不安を高めるようにも感じて、長女の時よりも三女の時のほうが将来が心配。個人個人の再犯防止対策を検討するのは簡単なことではないが、細かい対策が必要だと思う。  
情報が漏れることのないよう注意してほしい。通常の生活に戻っても、過去の過ちを引きづっては前には進めないから。コロナが落ち着いたとしても、また次の流行の病気が出てくるかもしれない。子どもたちが成長していく学びの場での様々なコミュニケーションによって、その子供たちが大人になった時に様々な判断を間違えないかもしれない。人との関わりを大切にする取り組みをよろしく願います。 (50 歳代)
- 社会が良くなると、再犯はあると思う。何かのデータで犯罪は年々減っていると見た。しかし再犯は増えている。罪を犯し帰ってきてても、家庭を取り巻く環境がすさんでいたら、まだ幼い少年は罪を再び犯すと思う。社会が良くなり、景気が良くなり、国民が住みやすさ、安定性があれば良くなると思う。 (50 歳代)
- 再犯防止に取り組むことは大切なことであると思う。しかし、最初に犯した犯罪を何故・何故で分析し、特に過去にどのような環境だったのかが再犯防止につながると考える。小中学校時での学校の在り方・家族の在り方が将来の人格に影響していると考え。ここに対応をどのようにしていくのか。教育はどうあるべきか(家庭含め)これが犯罪を犯させない事につながっていくのかと。人権を尊重は判っているが、その言葉でやるべき機関が本当にやった方がいいことは判っているが、手を出していない。解決すること、しなければいけないことは多いと思う。 (60 歳代)
- 犯罪を犯した若者が、動物を育てる事で責任感や命の大切さを実感する事が出来る様になるという記事を読んだ事がある。八王子市でも実践して欲しい。 (60 歳代)
- 両親との関係が良好でない場合が多いので、両親との話し合いが少なく、関係がよくなるように政策で(両親と子供さんの会合)行えないか。 (70 歳代)
- 本当に大変なお仕事と思います。ご苦労様です。悪い子供になってほしくて子育てしているわけではないので、どうして、何でという思いで悩んでいると思うが、コロナ同様何かあれば、その場所に住めないような疎外感、追い詰められ、責められ、ますます追い込まれる現状。周りの目が温かいと救われることもあるので、理解したいと思う。悪いほうに進んでしまった人をどうか救ってあげてほしい。老婆心ながら願います。 (70 歳代)

#### 《その他ご意見》

- 犯罪をおかし、更生した人の過去や心情を聞き、どのように考え方が変わっていったのかの過程をインターネットを使って発信していく。犯罪をする人は、それだけでは再犯の防止にならないと思うので、ゆっくり自分を見つめるための施設や期間が必要だと思う。宗教家の演説もいいけれど、自己啓発セミナーみたいなものや、演劇のようなエンタメも犯罪を犯した自分の気づきを助けるツールになると思う。 (20 歳代)
- アンケートに回答しながら、レ・ミゼラブルの主人公、ジャン・ヴァルジャンを思い出した。精神が憎悪に満たされた彼を救ったのは、質素な生活をしている一人の高潔な人格者でした。歴史上の人物を思い出しても、高潔な人物からの影響が彼らの人生の終わりまで長く続いた例がいくつもあるように思う。  
再犯防止につながるかは分からないが、本や映画などの名作を通じて、人格者の精神や魂がかつて苦悩や絶望を経験しながらも、強い意志でそれらを克服していったという遍歴に触れる機会を増やすことは、再犯者たちの精神にほんの少しでも何らかの影響を与えられるのではないかとと思う。 (20 歳代)
- 普段日々の生活に追われあまり考えたことのないテーマだったが、個人情報を守りながら、どのように対応していくのがよいか難しいと思う。例えば罪を犯した人と共に働くとするならば、何も知らない方が自然と接せられるだろうし、過去を知っていたら、何かあると疑ったりしてしまいそう。 (30 歳代)

- 出所後のケアがどれだけできるか。未知で難しすぎて、参考にならずすみません。 (40 歳代)
- 国がやる役割と責任と、市としてやるべき役割と責任及び出来ることを明確にした上で効果的な推進計画を立ててほしい。 (40 歳代)
- 薬物による犯罪は本人の責任であるため再犯については入手元を絶たつことが必須だと考える。 (50 歳代)
- 母親が約 50 年前、埼玉県浦和市の観察所で働いていたことがあり、保護観察という言葉には関心があった。「再犯を防ぐ」という手のかかるテーマと、自分は犯罪を犯さないぞと決意をした。生活苦からくる再犯に対しては対処の仕方があると思う。麻薬も普通の煙草から禁止すべきと思う。アルコールの CM も多すぎると思う。 (60 歳代)
- この度アンケートに答えながら、あまりに再犯防止について何も考えてこなかったことを感じた。八王子市で色々取り組まれていること、また色々な方が協力されていることを知り、すばらしいと思った。一般市民としてどんな協力ができるか考えたいと思う。 (60 歳代)
- さらに安心・安全な八王子市を目指し、再犯防止推進計画を策定されるとのこと、大いに期待している。犯罪を犯してしまった人の細かな内訳には、あまり関心はなかったが、再犯者の割合が増えているとのこと。一度罪を犯してしまい、その罰も受けているなかで再び罪を犯してしまう(せざるを得ないのか)原因をしっかりと見極め、再び罪を犯さないよう、本人はもとより行政を含めたまわりの人たちが適切な対応がとれるような計画であることを祈っている。また、本人ができること、まわりができること、行政ができることをしっかりと区分し、再び罪を犯した者だけが追いつめられないような温かみのある計画であってほしい。 (60 歳代)
- 犯罪を起こす根本的な原因を調査・分析する必要がある。家庭環境や貧困など、ある程度察知できるものは能動的に支援していく必要があると思う。(負の連鎖を断ち切る必要がある。) (60 歳代)
- 八王子市はパトロール等、他の市部区部に比べて良く行動している様に見受けられる。八王子市の取り組みを 23 区等で真似をして取り組むと犯罪の抑止力につながると考える。手厚い更生に力を入れることにより、再犯を減らすことができるのではないかと思う。これからもこの行動を進めてほしい。 (70 歳代)
- 犯罪を犯した人は厳正に処罰すべきであるが、犯罪に至った経緯・背景等について、詳細に分析を行い、適した対策を立案推進すべきと思う。 (70 歳代)
- アンケートをさせていただいた。これらの施策を実施していけば、相当な成果が期待できると思った。 (70 歳代)
- 直接協力することができない私ですが、小さな地域の一人として見守りに重視したく思う。今後ともよろしくお願いします。 (70 歳代)



令和2年度(2020年度)市政モニター  
アンケート結果  
令和2年(2020年)12月

発行 八王子市総合経営部 広聴課  
八王子市元本郷町三丁目24番1号  
電話 042(620)7411(直通)  
FAX 042(620)7322